

山河在り

文責 米村

東陽中学校だより
平成27年度第6号
平成28年3月24日



八代市立東陽中学校 Toyo Junior High School



～感動の卒業式～卒業生の進路に期待し、在校生の活躍に感謝

証書授与・送辞・答辞に感動 ～人々の心に響く卒業証書授与式～

3月11日、桜のつぼみが膨らみ始めた良き日に28名の卒業生が東陽中学校の思い出の校舎と別れを告げ、旅立って行きました。

一人一人に卒業証書を授与しながら、それぞれの凜とした表情に、更なるステージへ旅立つため、新たな扉を開く覚悟を感じました。送辞を述べた生徒会長上村麻桜さんは、大好きな3年生を送り出す寂しさとこれまでの感謝を感情豊かに語り会場の涙を誘うものでした。卒業生代表としてステージに立った梅田美乃里さんの答辞は、3年間の中学校生活を振り返り、部活動や



上村麻桜さんの送辞

学校行事でのたくさんの成果と、お世話になった多くの方々へ、感謝の気持ちを切々と述べる感動的なものでした。

小中一貫・連携教育の成果を示すもの ～義務教育9年間の集大成～

東陽小学校からは6年生が式に参列してくれました。代表して「お祝いの言葉」を堂々と伝えてくれた村島悠斗さんの活躍や、在校生と一緒に立派な合唱を作りあげてくれた姿に頼もしさを感じました。

また、八代市教育委員会を代表して告示を述べて頂きました学校教育課課長補佐の入佐正夫様は、種山小学校教頭として、卒業生を指導して頂きました。本年度の卒業生が小学校時代より小中一貫・



梅田美乃里さんの答辞

連携教育が進められました。本年度は合同運動会が第2回目を数え、東陽町文化の祭典で、伝統文化を小・中合同で発表し、成功させるなど小中一貫・連携教育の充実期を迎えているところです。

新たな東陽中学校の歴史を継承・発展 ～40名の精鋭で新しいステージを～

28名の築いた東陽中学校の新たな歴史を受け継いで行くのは平成28年度の在校生40名となります。56名の全校生徒から急に生徒数が減少する寂しさはありますが、生徒会活動や部活動等、これまで以上に一人一人の個性を発揮し、集団へ新風を吹き込んでほしいものです。卒業生がそうであったように、自分を表に出し、他者からの意見に照らし合わせなければ成長は望めません。

優れた思考や行いは「伝統」として後輩に受け継がれるものです。卒業式で、体育館後方に展示されていた満開の桜を描いた屏風絵が目にとまった人も多いと思います。これは東陽中学校平成8年度の選択美術の授業で学んだ生徒による作品です。書かれていた作者名の中に、今の東陽中保護者のお名前を発見し、感銘を受けたところです。正に親から子へと受け継がれている東陽中学校の歴史を確信しました。この歴史をすばらしい教育環境と共に支えて下さっている保護者、地域の方々々に改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。今後ともご支援よろしくお願いたします。



退場する卒業生のバックを飾る桜満開の屏風絵は平成9年1月選択美術の授業で作成されたもの



耐震工事を締めくくる箱文字「東陽中学校」を設置！

平成27年度を通して実施された校舎耐震工事とそれに伴う技術・家庭科棟解体工事などの全ての事業が完了しました。予定になかった複数の改良工事を追加で実施して頂いた八代市教育委員会、工事関連業者の方々に深く感謝致しております。

校舎北側中央3階の壁面に設置した「東陽中学校」の文字立体的に作成してあり満開の桜にも映える色を選びました

裏面もご覧ください

「学校評価」～新年度の課題解決へ向けての指針～

～ 学校関係者評価 ～ 平成28年2月実施

学校評議員4名を含む計7名の学校外部の方からなる学校評価委員会に「学校関係者評価」をしていただきました。

7月と12月に実施した生徒・保護者の学校評価結果を参考に、平成27年度東陽中学校経営方針の内容に沿って評価いただいた主な結果が以下のものです。

- 1 生徒・保護者と教師、生徒相互、教師相互の信頼関係の強化……………7名の平均値 3.4
 - 2 学校や地域に対する誇りをはぐくむ教育……………7名の平均値 3.3
 - 3 学校組織としての教育力の高揚……………7名の平均値 3.3
 - 4 人権尊重の視点に立った教育実践……………7名の平均値 3.6
 - 5 指導力、授業力の向上……………7名の平均値 3.4
- ※ 評定の基準 4:目標を十分に達成、3:ほぼ目標を達成、2:やや不十分、1:改善を要する

それぞれの項目に対する講評も頂いております。詳細な内容は東陽中学校のホームページに掲載しておりますのでそちらをご覧ください。

克服すべき課題(学校だより5号で紹介したものと同じです)

★授業での積極的な質問 ★自ら思考し意見発表・意見交換

★家庭学習の充実 ★部活動と勉強の両立

～ 学校評価のための保護者用・生徒用、教職員アンケート結果より ～ 平成27年7月12月実施

昨年7月と12月に実施した学校評価のための保護者用・生徒用アンケートと、教職員アンケートの結果から以下の分析を行っています。この結果も上記の「学校関係者評価結果」同様、詳細な内容は東陽中学校のホームページに掲載しておりますのでそちらをご覧ください。

・保護者と生徒、教職員の結果に共通している内容は家庭での学習時間の不足や、読書時間の少なさを判定した数値である。しかし、1年生は八代市教委が設定した年間の読書冊数基準を全員が上回り、「ハッピーブック」の表彰を受賞した。卒業まで継続して欲しいものであり、全校に広がり期待する。家庭学習の時間確保については部活動との両立も必要であり、計画的な生活習慣を確立し、短時間でも効果の上がる、自分に合った勉強法を見つけ、実践して欲しい。

・学校と生徒、保護者の関係や地域とのつながりに良好な評価を3者とも行っている。学校としては生徒数が減少し一人一人により細かい指導が可能となる。少人数の利点を活用し、不利な面を補う教育を、家庭や地域と連携して継続して行く。小学校との連携も軌道に乗ってきたので、改善をはかりつつ東陽の特色ある義務教育を確立する。

武道場天井落下防止工事始まる

国の予算配分等の関係で、平成28年度にずれ込んでしまう「武道場天井落下防止工事」が卒業式の終了を待って開始されました。平成28年5月末には完了する予定です。ようやく校舎の耐震工事が完了し、駐車場も整備されましたが、またしばらくの期間、保護者の方々や地域の皆様にもご迷惑をおかけします。

入学式当日は仮の工事囲いを撤去し、武道場前の駐車スペースを確保する予定です。詳細につきましては入学式のご案内を参照ください。耐震工事に合わせて、老朽化したバックネットを撤去。乗用車の通行が可能となりました。救急車等の緊急車両も2方向から侵入できるので安心・安全に貢献できると思います。

最後までご覧頂きありがとうございました。

<http://jh.higo.ed.jp/toyojhs/>

東陽中学校のホームページもご覧ください。行事写真も確認できます。